

第 56 期中央労働講座

報告者 窪田 智之

2025年6月12日から14日の3日間、愛知県豊橋市のシーパレスリゾートにて第56期中央労働講座に参加してきました。

鈴木誠一中央委員長から、「今回の中央労働講座は全国の書記長クラスを集め次なるリーダーの育成と、全国の横のつながりを強める意味がある」とあいさつされました。

第1講座は鈴木誠一委員長より「全港湾の歴史」について講義していただきました。

終戦間際の『米よこせ』からはじまった先輩たちが戦って残してくれたものを再確認できました。

戦争という過ちを二度と繰り返さない、忘れてはいけないと強く思いました。

第2講座は玉田雅也全国港湾書記長より「産別協定と事前協議制度」について講義していただきました。

産別協定は圧倒的強者の企業から労働者を守るための協定である。

我々港湾労働者の職域を守るために先輩たちが、たたかいによって築いた財産だと学ぶことができました。

事前協定制度的について日港協を仲介役とする二者二者協議がうまく機能しておらず今回のストライキにつながった。

新規サービスや作業体制の変更など様々な課題、問題も多く雇用問題が起きないかしっかり対応していかななくてはならないと思いました。

第3講座は鈴木龍一副委員長より「組合強化とは、役員とは、組織運営はどうあるべきか」について講義していただきました。

今回の第56期中央労働講座は次世代を担う書記長を中心に集められたということ。

書記長は『扇の要』である。書記長が要である。組合員が中心で人が人を通じて人のために成し遂げるヒューマンビジネスであるということ、

その人を動かすリーダーには民主的で実行力があり自らの犠牲もいとわ
ないものでなくてはならないと重い責任を強く感じました。

グループ討論では、各地方の現状や問題、それに対する対応や考え方
など共有でき参考になりました。

レクリエーションでは1戦目で優勝したチームに負けてしまいました
が、2戦目では少しずつ慣れてきて勝利することができました。

3日間を通して何もかも初めてのことで、初対面の方と同じ部屋でう
まくできるか緊張していましたが、とても親切に仲良くしていただきあ
りがたかったです。

今回参加して学んだことを今後の活動に役立て、より良い労働環境を作
っていきたいと思います。